

# 安城学園高等学校 同窓会会則

## ■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。  
第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

## ■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。  
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。  
第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
1 会員の互助  
2 会員名簿の整理  
3 母校が行う事業への協力  
4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦  
5 その他、本会の目的達成に必要なと認められる事業

## ■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。  
正会員  
1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生  
2 安城学園女子高等学校卒業生  
3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生  
4 安城学園高等学校卒業生  
特別会員  
教職員及び旧教職員

## ■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。  
1 顧問 若干名  
2 会長 1名  
3 副会長 若干名  
4 事務局長 1名(副会長が兼任)  
5 幹事長 1名  
6 書記 4名  
7 会計 2名  
8 監査 2名  
第7条 本会に学外・学内代表幹事を若干名置く。  
第8条 本会の役員の選出は、次の方法で選出する。  
1 顧問は、安城学園長・同理事長、勿忘草会会長、安城学園高等学校長とする。  
2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。  
3 副会長は、2項に同じとする。  
4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。  
5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。  
6 書記は、5項に同じとする。  
7 会計は、5項に同じとする。  
8 監査は、5項に同じとする。  
9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。  
10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第9条 本会の役員、幹事には次の任務がある。  
1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。  
2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。  
3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。  
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行  
4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。  
5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。  
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示  
6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。  
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷  
ロ 各会の議事録作成と保管  
ハ 会報の発行等  
7 会計は、本会の経理事務を処理する。  
8 監査は、会計事務の監査に当たる。  
9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。  
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。  
第10条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。  
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

## ■第5章 会 議

- 第11条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。  
1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。  
2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。  
3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

## ■第6章 会費及び会計

- 第12条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。  
第13条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。  
第14条 本会は、入会金、会費をもって運営する。  
第15条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。  
第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。  
第17条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

## ■第7章 通信及び事務

- 第18条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。  
第19条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

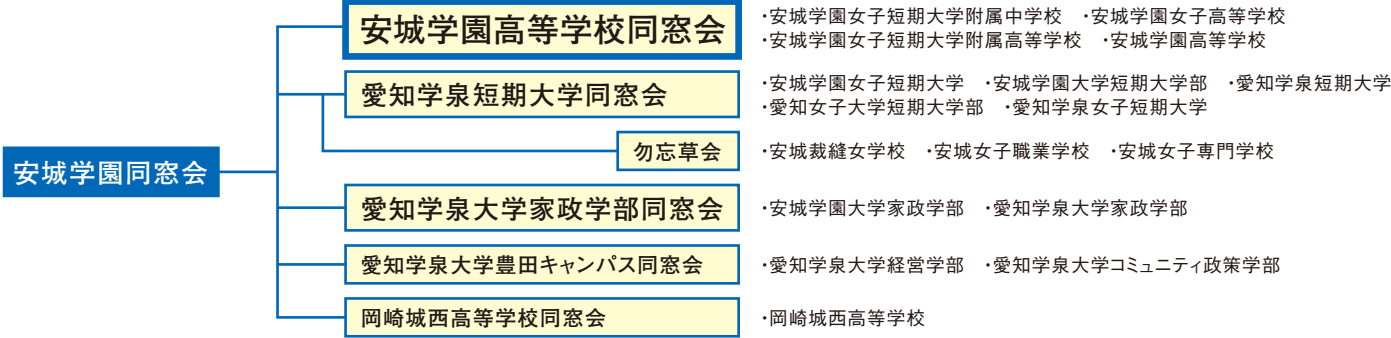
## ■第8章 支部会について

- 第20条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

## ■第9章 付 則

- 第21条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。  
第22条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。  
・本会則は、平成16年10月24日より実施する。  
・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。  
(但し、第5章会費は平成22年度より改正)  
・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。

# 組織図



## 安城学園高等学校 同窓会会報



## 卒業を祝して



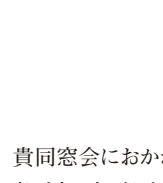
### 「真心、努力、奉仕、感謝」の学びに育まれて

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。  
高校生活3年間を終えられた皆様、安城学園高等学校同窓会に入会していただき、ありがとうございます。第一歩を踏み出す同窓生を心から歓迎致します。  
本年度より、会長を務めることになりました昭和50年卒業の瀬戸藤代です。よろしくお願い致します。

この同窓会は、昭和21年に安城学園同窓会「勿忘草会」として発足され、平成16年3月、安城学園同窓会「勿忘草会」が解散し、平成16年10月24日、高等学校の部が独立、大学、短大、高校の3つに分離となり、「安城学園高等学校同窓会」として設立されました。そして、安城学園高等学校同窓会会報「おもいでぐさ」は平成22年2月発刊以来、卒業生の皆様にお届けしております。昭和24年3月高校の「勿忘草会」同窓生は65名でした。現在の「安城学園高等学校同窓会」会員は、8,123名、「勿忘草会」会員と卒業生を含めると36,235名です。安城学園高等学校同窓会20回目の入会式を迎えました。現在、本当に長い歴史と伝統を感じさせられます。

皆様は、高校生活真っ只中に新型コロナ感染の影響により、学校行事の中止や縮小、各クラブの大会も無観客や中止となった経験をされてきました。時とともにコロナの影響は、収束に向かい、高校生活最後の行事に多少の不便はあったものの、学校行事やクラブの大会も以前のように活動し始めてきました。学園祭では、今回一般公開され、展示や催しに参加すると、溢れんばかりの挨拶や笑顔が見ら

### 同窓会の発展を願って



理事長 寺部 暁

貴同窓会におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、今年度、学園は創立111周年を迎えることができました。これもひとえに、現在通っている在学生とその保護者の方々、社会で活躍している卒業生、教職員の皆さま、地域の皆さまのお陰であります。心から感謝申し上げます。

ところで、この111年間学園とともに一緒に歩み続けてきた存在があります。学園がさまざまな困難と幾多の危機を乗り越えることができたのもその存在のお陰です。

それは何かというと、同窓会という存在です。同窓会は長い間、勿忘草(わすれなぐさ)会という組織でした。現在では愛知学泉大学家政学部同窓会、愛知学泉短期大学同窓会、安城学園高等学校同窓会の3つに分離独立しました。その結果、それぞれの同窓会がこれまで以上に創意工夫を重ねて活性化していることを高く評価しています。

「学校があつての同窓会、同窓会があつての学校」だと思います。貴同窓会が新会長の下、今後益々発展されることと会員各位の皆様が、「生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた人生を送ること」ができますよう心からご祈念申し上げます。

発行日 2024年2月16日  
発行所 安城学園高等学校同窓会  
〒446-0036  
安城市小堤町4-25  
TEL.0566-76-5105  
FAX.0566-72-2808  
[E-mail] info@angaku.jp

安城学園高等学校同窓会  
会長 瀬戸 藤代

れ、嬉しく思いました。制約の中で活動を楽しむためのルールを守り、仲間と協力し合い、できる喜びに感謝する姿も感じられました。困難な現状にも、高校生生活を充実させていくように努力されたことでしょう。私もクラブ活動(ソフトボール部)の充実した高校生活があったからこそ、将来への夢を友や先生と語り、そして自分の志を持ち、実現に向けた進路へと進むことができたのだと、思います。そこには、建学の精神「創立者は、女性の潜在能力の無限を信じ、その可能性の限界までの開発を終生の信条とし、真心、努力、奉仕、感謝、の実践によって自らも幾多の困苦を乗り越えて、それを具現した」という卒業アルバム の冒頭に書かれた言葉は、今も心に刻み込まれています。

創立111周年を迎えた皆様もさらなる伝統を育んでいく同窓生です。

この伝統ある安城学園高等学校で「誰もが無限の可能性を持っている」という創立者寺部だい先生の「真心、努力、奉仕、感謝」の四大精神を心の糧とし、同窓生の一員として母校を応援して参りましょう。感謝の気持ちを込めて、安城学園高等学校の更なる発展に、役員一同も皆様とともに尽力して参ります。皆様あつての同窓会です。同窓会の集まりは、総会を始め、学園祭などにもぜひお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

まずは、令和6年6月に開催予定の総会(還暦・成人のお祝い)へのご出席をお待ちしております。ただし、状況により中止の可能性もありますので、ご了承ください。

### 建学の精神に依拠し

### 「本気で挑戦、全力で応援する学校」



校長 佐藤 順

同窓会の皆様には、日ごろより母校に対して多大なご支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今世界は、長期化するロシアのウクライナ侵攻、激化するパレスチナ紛争など、対立と分断が深まり大きく揺らいでいます。他者に対する不寛容からくるトラブルは私たちの生きる身近な社会においても少なくないように思えてなりません。本校創立者寺部だい先生は「真心、努力、奉仕、感謝」の四大精神の実践を通し家庭と社会に温かい心と新しい息吹を与えることのできる人間を育成する」ことを「建学の精神」として安城学園を創立しました。この目指すべき人間像は人と人の繋がりが薄れている現代社会において、まさに求められているのではないのでしょうか。安城学園はこれからも110年を超える歴史の中で受け継がれてきたこの「建学の精神」に依拠した教育活動を推進していく所存です。

さて、安城学園高校は今「本気で挑戦、全力で応援する学校」をモットーにしています。この言葉は数年前の生徒会長が生徒総会の中でどんな学校にしたいかについて語った時に使った言葉です。同窓会の皆様におかれまは今後も安城学園高校の応援団の一人として一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



## 第20回安城学園高等学校同窓会総会が開かれました。



日時 令和5年6月3日(土)午前11時～  
場所 安城学園高等学校 視聴覚教室(西館3F)

### 【総会】

1. 同窓会会長あいさつ
2. 理事長あいさつ
3. 学校長あいさつ
4. 議長選出
5. 議題
6. お祝い会
7. ミニ音楽会 詩吟「安城 岳風会」

### 安城学園高等学校同窓会・事業報告

#### ～令和4年度事業報告～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(9月)
- 部活動応援……………(8月→中止)
- 110周年記念行事(アンフォーレ写真展)……………(11月)
- 会報「おもいでぐさ」15号発行……………(11月)
- 令和4年度卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)

#### ～令和5年度事業計画案～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会中止案内発送……………(4月)
- 幹事会・第20回総会……………(6月)
- 部活動応援……………(8月)
- 学園祭パネル展示……………(9月)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)
- 令和5年度卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」16号発行……………(2月)



同窓会総会



学園祭



ウィンターカップ激励金贈呈

### 同窓会役員

|      |                                        |
|------|----------------------------------------|
| 顧問   | 寺部暁(理事長)、佐藤順(学校長)、熊谷誠人(副校長)、鶴田紀美子、森脇康代 |
| 相談役  | 鶴田孝文(教頭兼部長)                            |
| 会長   | 瀬戸藤代                                   |
| 副会長  | 藤井京子、廣中隆一、太田久美子、星野訓代(事務局長)             |
| 幹事長  | 浅井恵                                    |
| 書記   | 石原美菜子、石田桂、栢山美鈴、大隅千明                    |
| 会計   | 神谷美鈴、榊原ゆり                              |
| 監査   | 深津貴哉、星原翔                               |
| 学内代表 | 大久保一代、三井妙子                             |
| 学外代表 | 小澤望知人、冬柴淳至                             |

### 幹事

| 令和3年度        | 令和4年度      | 令和5年度       |
|--------------|------------|-------------|
| 普1組 宮崎 デイビット | 普1組 岩瀬 理子  | 普1組 長岡 ハイッサ |
| 2組 吉田 琉人     | 2組 吉永 壮    | 2組 松原 雅怜    |
| 3組 鈴木 琉杏     | 3組 香村 遥菜   | 3組 伊藤 楓     |
| 4組 矢野 心絵     | 4組 神谷 美葵   | 4組 太田 帆奈    |
| 5組 岩堀 一星     | 5組 石川 里奈   | 5組 澤田 叡自    |
| 6組 宮本 大地     | 6組 岡部 敏正   | 6組 渡邊 美月    |
| 7組 犬塚 丈瑠     | 7組 伊藤 汐音   | 7組 妹尾 柚輝    |
| 8組 阿藤 明穂     | 8組 大谷 瑠璃   | 8組 壁谷 咲良    |
| 9組 原田 翔矢     | 9組 長谷川 陽   | 9組 木村 妃依    |
| 10組 森 悠音     | 10組 藤井 駿希  | 10組 佐橋 愛乃音  |
| 商1組 及川 あすか   | 11組 田中 優月  | 11組 伴 陸生    |
| 2組 鳥居 優奈     | 12組 岡田 柊哉  | 12組 松原 海斗   |
|              | 商1組 松尾 歩乃佳 | 13組 神谷 詩織   |
|              | 2組 深谷 和加   | 商1組 中井 鈴乃   |
|              |            | 2組 鈴木 あゆみ   |
|              |            | 3組 小川 ゆい    |

※年次幹事は終身幹事です。

## 同窓生という「輪」

「安城学園で過ごした三年間は一生の宝物」

星原 翔 さん(平成30年度卒)



私が安城学園を卒業してから6年が経ち、現在は自動車を製造する企業に勤めています。最近では結婚式を行ったりマイホームを購入したりして、忙しいながらも毎日が楽しく充実した日々を送っています。

安城学園に入学したときは知り合いもなく不安でいっぱいでしたが、先生方をはじめ、クラスメイト、部活動の仲間に出会い、いつの間にか不安も払拭され楽しい学校生活を送ることができました。安城学園での思い出はとにかく部活動に熱中していたことです。私は硬式野球部に所属し、その活動を通して得た経験や忍耐力は社会人になった今でも私を後押ししてくれます。今では硬式野球部の仲間と草野球チームを作り、週末に野球をするのが私の楽しみのひとつです。西尾市で活動しているので気になる方はご連絡ください。(@ng\_baseball17)

これからも建学の精神である「真心、努力、奉仕、感謝」を忘れずに、安城学園で学んだことに誇りをもって過ごしていきます。

人との繋がり

深津 貴哉 さん(平成25年度卒)



私は安城学園高等学校での学校生活を通し、人との繋がりの大切さを感じることができました。高校ではサッカー部に所属し、目標に向かい夜遅くまで練習をする毎日でした。挫折をすることも多くありましたが、仲間と共に支えあうことで乗り越えることができました。また、副部長をしていたこともあり、チームを引っ

張っていくという貴重な経験もさせていただきました。高校卒業後は愛知学泉大学に入り、学生会活動に自主的に参加し、学生会長も務めました。学生会長での経験から今の会社に就職でき、今でも安城学園と関わりを持つことができていくことに喜びを感じています。

高校での仲間との出会いは今の社会人になっても繋がっています。安城学園が繋げてくれた仲間をこれからも大切にしたいと思います。

最後に安城学園という学校の選択をして本当に良かったと思っています。

2024年

同窓会総会案内

2024年6月1日(土)

11:00～12:00 安城学園高等学校

開催について、案内ハガキを発送いたします。多数のご参加をお待ちしております。

「感謝の気持ち」

松山 啓子 さん(昭和57年度卒)



学園を卒業して初めて令和5年度の同窓会(還暦のお祝い会)に、友人達と参加させて頂き学園を訪れる事が出来ました。あの当時と景観が少々変わっていましたが、当時の諸先生方・友人達との10代の懐かしい思い出がよみがえりました。

私は卒業後、就職をしましたが無事に42年間勤めあげる事が出来そうです。学園で学んだ四大精神である「真心・努力・奉仕・感謝」の言葉が常に心のどこかに意識して過ごさせたからだと思っています。常に真剣につくす心、成し遂げる力、そして健康である事、仕事をさせてもらえる事、食べられる事、家族・友人・私に携わってくれたすべての人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。(ありがとう)

いつまでも、その気持ちを大切に日々のささやかな事にでもモチベーションをあげながら第二の人生をゆっくり思う存分楽しみたいです。

みな様も学園の四大精神を心のどこかにおさめられます様に!!

## 卒業生からのたより

学園での3年間を経て

神谷 みき さん(令和4年度卒)



私は小学生の頃から幼稚園の先生になりたいと思い、専門的に学べる子ども教育芸術コースで学び、その後愛知学泉大学こどもの生活学科に入学をしました。現在は、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士資格取得に向け、大学の先生や仲間と一緒に、ピアノ練習や絵本の読み聞かせ練習、指導案

作成などと、日々課題をこなしています。学生時代では、部活と自主活動を充実させて、仲間とともに学び合ったり成長しあって過ごす日々が一番楽しかったです。私にとって高校で出会った仲間は一生の友達です。学生時代を楽しい思い出であふれさせて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。今度は同窓会の一員として皆さんを少しでも応援出来るよう、務めていきたいと思っています。皆さん色々な夢があると思いますが、感謝の気持ちを忘れず、自分の夢に向けて頑張ってください。応援しています。

### 編集後記

安城学園高等学校同窓会会報17号発行ができましたことは、理事長様、校長先生のご支援のお陰と感謝申し上げます。

同窓会の目的は、会員相互の連携と親睦を図ると共に、安城学園高等学校の発展に寄与することであります。毎年、学生のスポーツ、音楽、文化等々の成績は誇りであります。今後も、各分野でのご活躍に同窓会も心より応援し続けていきたいと思っています。

会員の皆様におかれましては、同窓会の諸行事に積極的に参加され盛り上げてくださることを期待します。

\*会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園高等学校同窓会事務局にご連絡下さい。